

第30回記念学童野球フェスティバル 大会規則と注意事項

京都野球協会(京都府少年野球連絡会)

(2017/7/17版)

1. ベンチには、メンバー表記載選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出来ない。
2. 監督・コーチは選手と同一意匠のユニホーム・スパイク・ゴム底運動靴の着用を義務づける。
《監督は30 ・ コーチは28 ・ 29の背番号をつけていること。》
3. 試合当日、監督・コーチが**何らかの理由で変更になる場合は、メンバー表の監督の欄に代理と記入し**本部に提出すること。
4. 試合は7回戦(試合時間は1時間20分とし、これを超えて新しいイニングに入らない)とし、7回又は7回に達しない場合であっても1時間20分を経過して同点であった場合は、試合終了時点の出場選手9名による抽選で勝敗を決定する。
但し、決勝戦は時間制限なしで7回まで行い、同点の場合は特別継続試合を採用する。
【この方法は、無死満塁の状態から継続打順にて2イニングまで行い(1イニングで決着する場合もある)決着しない場合は、抽選をもって勝敗を決定する。
走者は、継続打順の前打者3人を打順に従って。前イニングの最終打者を一塁走者・二塁走者・三塁走者と順に配置する。】
5. 4回10点・5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《 但し決勝戦は除く 》
6. 負傷による臨時代走を認める。【負傷した打者の前打者(投手は除く)を臨時代走とする。】
7. 球審は、各行政に割振りして行い、塁審のみ各チームより出していただきます。
《 準決勝戦・決勝戦は球審・塁審とも各行政に割振りにて対応する。 》
8. 球審及び塁審の服装は**ズボン(紺色・黒色・グレー)・長袖シャツ(紺・白【半袖可】)**着用し、靴も**黒色の物を履くこと**。
9. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
10. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
11. 暗雲降雨により試合を**中断・中止した場合で、5回を終了していれば試合成立として終了する**。
但し、それ以外の場合は、**ノーゲームとし後日再試合**とする。
12. グランドルールは、各会場のルールにのっとり行う。(試合前に確認の事)
13. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
14. 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。
《 但し、ルールの適用に誤りがあつた時のみ 》
15. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
16. **15. の内容が悪質な場合は、審判の判断でグラウンド外(退場処分)へ出てもらう**。
17. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
18. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
19. 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し避難する。
20. その他競技規則は、2017年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。